

## 量の見込みの算出(一部訂正)について

第4回子ども・子育て会議(平成26年3月25日開催)で承認いただいた量の見込みについて、会議以降に国から留意点が示された内容を受け、一部訂正を検討します。

### ●「量の見込み(放課後児童健全育成事業以外)」に関する調査(平成26年4月時点)及び「量の見込み」の算出の留意点について

〈平成26年4月2日付 内閣府子ども・子育て支援制度施行準備室 事務連絡 より作成〉

「作業の手引き」をもとに算出すると、平成27年度に保護者の就労希望が全て実現することを前提とした算出方法となることから、以下の点に留意し、算出することが考えられます。

- ① 就労希望が計画期間中に徐々に実現するという考え方に基づく設定とする場合、潜在ニーズに対してより早期に対応することを念頭に、少なくとも平成31年度(平成29年度)まで平均的に増加すると仮定した場合の数値以上の数を設定することが望ましい。
- ② ①の考えに基づき設定した場合、2号認定、3号認定の確保方策については、平成29年度末までに量の見込みに対応するための特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業を整備し、それ以降の増加にも対応できるよう整備を充実すること。
- ③ ①の考えに基づき設定した場合、認可・認定の申請があった年度の量の見込み既に達しているも、計画期間中のピークとなる量の見込みには達していない際には、認可・認定することが望ましい。

大和郡山市では、ニーズ量に基づいて量の見込みを設定している事業については、上記の考え方に留意し、見込み量を調整します。

計画初年度(平成27年度)はをニーズ調査で得られた「現在の家庭類型」から量の見込みを設定し、子ども・子育て支援給付は平成29年度、地域子ども・子育て支援事業は平成31年度には「潜在の家庭類型」による量の見込みとなるよう調整します。

●放課後児童健全育成事業に関する「量の見込み」に関する調査の集計結果について（情報提供）

＜平成 26 年 5 月 1 日付 厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課 事務連絡 より作成＞

各市町村からの量の見込み（暫定値含む）を取りまとめたところ、5歳児時点での利用意向を基にした「量の見込み」と、就学児の利用意向を基にした「量の見込み」を比較したところ、よりニーズの実態に近い就学児よりも、5歳児時点での利用意向を基にした「量の見込み」の方が高くなる傾向が見られました。そこで、よりニーズの実態に近い「量の見込み」になるよう、検討材料として考え方を示します。

- ① 5歳児調査と就学児調査の両方を実施している市区町村については、就学児調査の結果を「量の見込み」とする
- ② 5歳児調査のみを実施している市区町村については、5歳児調査と就学児調査の乖離度又は就学児調査の利用意向率の全国平均値を用いて、5歳児調査の数値を補正して「量の見込み」とする

大和郡山市では、就学児調査結果を量の見込みとします。

## 訂正する量の見込み

### (1) 子ども・子育て支援給付

#### ⑥大和郡山市の量の見込み及び設定の考え方

1号認定、2号認定、3号認定（1・2歳）については、ニーズ量から導かれる保護者の利用希望や実際の利用状況を勘案し、算出されたニーズ量を量の見込みとして設定します。

3号認定（0歳）については、ニーズ量と実際の利用状況に差がみられることから、留意点を踏まえた調整を行った量の見込みを設定します。

なお、それぞれについて、平成29年度に潜在的な就労意向が実現すると仮定し、平成27年度は現在の就労状況によるニーズ量を設定し、平成28年度は平均的に推移するよう量の見込みを設定します。

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
1号認定（認定こども園及び幼稚園）	3～5歳 人／年	1,003	962	920	887	845
2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）		103	118	133	128	122
2号認定（認定こども園及び保育所）		809	790	772	744	708
3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0歳 人／年	244	244	243	238	233
	1・2歳 人／年	507	504	500	487	475

#### 【前回お示しした量の見込み】

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
1号認定（認定こども園及び幼稚園）	3～5歳 人／年	971	952	920	887	845
2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）		140	137	133	128	122
2号認定（認定こども園及び保育所）		814	798	772	744	708
3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0歳 人／年	257	250	243	238	233
	1・2歳 人／年	549	518	500	487	475

## (2) 延長保育事業

### ⑥大和郡山市の量の見込み及び設定の考え方

延長保育事業については、ニーズ量から導かれる保護者の希望利用時間帯や実際の利用状況を勘案し、算出されたニーズ量を量の見込みとして設定します。なお、平成31年度に潜在的な就労意向が実現すると仮定し、平成27年度は現在の就労状況によるニーズ量を設定し、平成30年度までは平均的に推移するよう量の見込みを設定します。

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
延長保育事業	人／年	557	541	525	509	492

#### 【前回お示しした量の見込み】

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
延長保育事業	人／年	563	544	526	510	492

## (3) 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

### ⑥大和郡山市の量の見込み及び設定の考え方

放課後児童クラブについては、ニーズ量が現時点で保育所を利用していない就学前児童の利用意向を反映しているため、低学年、高学年ともに実際の利用状況より大きな数値になっています。そのため、小学生対象調査結果からの推計値を量の見込みとします。

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）	低学年 人／年	279	280	277	274	268
	高学年 人／年	153	148	145	143	144

#### 【前回お示しした量の見込み】

＜平均入所率と家庭類型の変化を踏まえた推計＞ \* 登録を希望しながらできなかった人を含む

種類	単位	平均入所率と家庭類型の変化を踏まえた推計				
		H27	H28	H29	H30	H31
放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）	低学年 人／年	451	452	447	442	432
	高学年 人／年	223	215	211	209	209

※(放課後児童クラブの平均入所率×推計児童人口)+現在から潜在に変化することで増加する見込み量

#### (4) 子育て短期支援事業

##### ⑥大和郡山市の量の見込み及び設定の考え方

子育て短期支援事業については、ニーズ量から導かれる保護者の利用希望や実際の利用状況を勘案し、算出されたニーズ量を量の見込みとして設定します。なお、平成 31 年度に潜在的な就労意向が実現すると仮定し、平成 27 年度は現在の就労状況によるニーズ量を設定し、平成 30 年度までは平均的に推移するよう量の見込みを設定します。

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
子育て短期支援事業	人日／年	126	122	118	114	109

##### 【前回お示しした量の見込み】

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
子育て短期支援事業	人日／年	125	121	117	114	109

#### (5) 地域子育て支援拠点事業

##### ⑥大和郡山市の量の見込み及び設定の考え方

地域子育て支援拠点事業については、ニーズ量から導かれる希望利用日数や実際の利用状況を勘案し、算出されたニーズ量を量の見込みとして設定します。なお、平成 31 年度に潜在的な就労意向が実現すると仮定し、平成 27 年度は現在の就労状況によるニーズ量を設定し、平成 30 年度までは平均的に推移するよう量の見込みを設定します。

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
地域子育て支援拠点事業	人回／月	1,726	1,663	1,599	1,535	1,471

##### 【前回お示しした量の見込み】

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
地域子育て支援拠点事業	人回／月	1,683	1,594	1,543	1,504	1,471

## (6) 一時預かり事業

### ⑥大和郡山市の量の見込み及び設定の考え方

一時預かり事業の幼稚園在園者（1号認定）については、ニーズ量が現時点で幼稚園及び認定こども園を利用していない就学前児童の利用意向も反映しているため実際の利用状況より大きな数値になっています。また、幼稚園在園者（2号認定）については、幼稚園に預けながら長時間就労を想定している人すべてが利用対象者となっているため実際の利用状況より大きな数値になっています。さらに、上記以外については、平成23年度以降は実際の利用がないものの、ニーズ量は大きくなっています。

幼稚園在園者（1号認定、2号認定）については、それぞれ算出されたニーズ量を量の見込みとして設定します。上記以外については実際の利用状況が少ないことから、0～2歳のニーズ量のうち、利用希望日数が多い人は保育所を利用できるものとして量の見込みとして設定します。

なお、それぞれについて、平成31年度に潜在的な就労意向が実現すると仮定し、平成27年度は現在の就労状況によるニーズ量を設定し、平成30年度までは平均的に推移するよう量の見込みを設定します。

種類	単位	量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
一時預かり事業	幼稚園在園者(1号認定) 人日/年	4,510	4,275	4,040	3,805	3,569
	幼稚園在園者(2号認定) 人日/年	15,710	15,383	15,057	14,731	14,404
	上記以外 人日/年	8,984	8,644	8,348	8,084	7,793
	*1 上段は手引き修正後の量の見込みです	8,483	8,310	8,138	7,966	7,793

\*1 0～2歳の該当者のうち、年間100日以上利用したいと回答した人(1名)は、3号認定該当者(0歳児でフルタイム×フルタイム)であるため、保育所が利用できるものとして除外して推計

「上記以外」は、手引き修正にともなう調整を行っています。

#### 【前回お示しした量の見込み】

種類	単位	量の見込み(下段が採用数値)				
		H27	H28	H29	H30	H31
一時預かり事業	幼稚園在園者(1号認定) 人日/年	4,101	4,019	3,886	3,746	3,569
	幼稚園在園者(2号認定) 人日/年	16,551	16,221	15,686	15,120	14,404
	上記以外 人日/年 *1	9,328	8,990	8,695	8,428	8,140